

カルザイ議長と議員団初の会談

アフガン復興に全力

戦乱が続いていたアフガニスタンでは昨年十一月半ば首都カブールが陥落し、十二月二十二日暫定行政機構が成立した。

民主党国際局長の池田元久衆議院議員は、十二月十七日から調査団を率いてイランなど周辺の国を訪れた



カルザイ暫定行政機構議長と会談する池田元久議員

あとパキスタンに入り、旅の途中からカブール訪問のための手配を始めた。カブールへは陸路が危険なため空路で行くしかなかった。池田議員は国連の現地駐在の幹部に働きかけた結果、数少ない国連機(八人乗り)をチャーターすることにできた。

池田議員は同僚三人とともに十二月二十八日早朝パキスタンのイスラマバードを発ち、カブール北方のパ

グラム空軍基地に着いた。道の両側は多くの地雷が埋められ、大きな不発弾が散乱していた。市内も大方の建物が壊れていた。暫定行政機構のカルザイ議長は一行を大統領府に迎えた。議員団の訪問は初めてで、議長は「むずかしい時に来て頂き有難い」と歓迎した。そして一病院もな

く道路も殆ど使えない状態だ。日本はアジアの一員、経済大国として復興に協力して頂きたい。また、アフガニスタンを自由な国、機会均等の国にしたい」と述べた。

池田議員は、日本の戦後復興の例を挙げ、協力を約束した。また、アフドラ外相とも電話で会談した。

また、調査団は、テヘランでハラジ外相らと会談し、イラン側からアフガニスタンの復興について日本と緊密に協力してゆきたいという強い意向が伝えられた。

このあと、調査団はウズベキスタンで、戦略的に重要な国境の「友好の橋」を再開後初めて視察した他、スルターノフ首相と会談。アフガニスタンの幹線道路の建設について日本との協力を提案された。

ノートと鉛筆を贈る

難民の子ども達も達が歓声

民主党は、昨年十二月十七日からアフガニスタンの周辺にありながら情報が乏しいイラン、ウズベキ

スタンを池田元久国際局長を団長に議員四人からなる調査団を派遣した。

池田国際局長らは十九日イランのアフガニスタン国境に近いトルバテジャム難民キャンプを視察した。その際、段ボール四箱のノート五百四十冊と色鉛筆約三千本をキャンプの小

学校に持参した。

これは、池田洋子夫人がコクヨオフィスシステム(株)と(株)トンボ鉛筆

に要請して提供をうけたもので、輸送についてもルフトハンザ航空、イラン国内航空などが協力してくれた。池田議員がノートと鉛筆を持参したことを説明する



ノートを贈る同行の岩本司参院議員



持参の文房具を前に贈呈式 池田議員の右側は近藤昭一衆議院議員、内藤正光参院議員

ここが問題！メディア規制法案

国会は、四月末から個人情報保護法案と人権擁護法案の審議に入り、自民、公明など与党は今国会で成立をはかろうとしている。

個人情報保護法案は事業者が集めた個人情報流出を防ぐこと、人権擁護法案

は人権侵害を救済すること。本人が自分の情報の開示を求めているが、事業者は業務に「著しい支障を及ぼすおそれ」があれば応じなくてもよいという規定がある。これでは市民が自分に関する情報をコントロールできないことになる。

疑惑の追及をうけている政治家や官僚が、報道機関に対して取材を拒否したり、逆に情報や情報源を明かすよう要求できることになる。内部告発もしにくくなる。これでは社会や政治の不正をたどさうとする報道、出版活動が大きく制約され、市民の「知る権利」は損なわれる。

人権擁護法案は救済対象から公権力による人権侵害

がはずされ、代って報道機関の過剰取材、プライバシー侵害が入った。また、法務省の外局として人権委員会が置かれ、報道機関に勧告ができることになる。

民主主義国家で報道被害に国が関与できる国はない。報道による被害は大きな問題ではあるが、あくまで市民の側が自主的に公正な組織をつくって取組み、是正してゆくべきだ。

代表選挙に投票できる
サポーターになりませんか

九月に民主党の代表を決める選挙が行われます。党のサポーターは十八歳以上のどなたでもなれます。会費は年間二〇〇〇円です。お問合せは事務所までお願いします。

池田元久と21世紀の会

池田元久と一緒に政治や身近な問題を考え、それぞれの立場で応援し、親睦も深めようと結成されました。役に立つ会、楽しい行事を予定しています。ご支援と交流の輪を広げていただければ幸いです。

ホームページをあらためました。

- 事務所の電話番号を利用してアクセス **0453711000.81104.com**
- アドレス **www2u.biglobe.ne.jp/~IKEDA/**

百合の会

女性の皆さんの語り合いと親睦の場です。アットホームな雰囲気でお話を盛り上げてゆきたいと存じます。お気軽にご参加下さい。

三三集会和ホームミーティング

お仲間が集まり、趣味やスポーツの会、酒場での会合。何でもどこへでも駆けつけます。是非お声をかけて下さい。

スタッフボランティア

運動、事務所の作業や活動、ポスター貼り、パソコンなど様々なかたちで、お力と時間を貸していただければ幸いです。楽しく有意義な活動を一緒にできればと存じます。

好評のバス旅行

恒例の日帰りバス旅行「河津桜と伊豆の幸ツアー」が、三月二日好天のもと約二百人の方々が参加して行われました。大仁ホテルで宴会のあと、名残りの桜を觀賞、親睦も深めました。好評を頂いていますので次回のバス旅行のプランを練っています。お楽しみに

お知らせ

次回のバス旅行を企画

横濱事務所
〒244-0211
横浜市旭区鶴ヶ峰二二三〇
相鉄鶴ヶ峰駅徒歩一分
TEL:045-371-1000
FAX:045-374-0100

国会事務所
〒100-8981
千代田区水田町二二二一
衆議院第一議員会館六四三号
TEL:03-3508-7903
FAX:03-3508-1364

